



学校だより

飛躍

平成19年10月2日

NO. 7 (NO. 37)

狛江市立緑野小学校

<http://www.komae.ed.jp/ele/midorino/>

「優しく」しかし「厳しく」

校長 佐藤正志

ある本に、次のような話がありました。「幼児が石につまずいて転び、泣き出しました。その時、A～Dの母親は次のようにしました。あなたは、どのタイプですか？」

Aの母親は、あわてて幼児を抱き起こし、涙をふいてやりました。

Bの母親は、「どこを向いて歩いているの。転ばないように、さっさと歩きなさい。」と叱りました。

Cの母親は、他の母親との話に夢中になっていて、幼児が転んだのに気付かず、「どうしたの、泣くのをやめなさい。うるさいわね。」と怒鳴りました。

Dの母親は、幼児のそばに行き、「痛かったのね。」と言葉をかけ、幼児が自分で立って歩き出すまで見守っていました。

様々な条件がありますので、一概にA～Dの母親のどれがよいと決めつけるわけにはいきませんが、一応次のように考えられそうです。

Aの母親は、過保護の典型のように思えます。

Bの母親は、厳しく叱っているように思えますが、その言葉によって子どもの心を動かすことは難しいように思えます。そして、母親や大人の指示、叱責を待たなければ行動できない、自立心のない子どもになってしまう恐れがあります。

Cの母親は、放任の典型です。

Dの母親はどうでしょう。子どもの気持ちを受け止めながらも、どんなことでも自分で処理し、解決しなければならないという厳しさを教えているように思えます。

子どもを育てるには、厳しさがが必要です。しかし、子どもの気持ちを受け入れ、その上で、一人一人の子どもが独立し、物事に意欲的に立ち向かうことができるようにするという方向での厳しさが大切だと思います。状況によっては、AやBの母親のようにすることも必要なときがあります。しかし、子どもを育てるためには、「子どもの気持ちを受け止めながらも厳しく育てる」という基本的な心構えが必要だと考えます。

9月行事から

3日 始業式 引取訓練

11日 縦割り活動

15・16日 PTA 防災キャンプ

PTA の実行委員の方を中心に、応急手当の講習、備蓄倉庫の見学、プールの水の浄化、炊き出し体験、体育館での宿泊体験と盛りだくさんの体験をしました。参加されたみなさん、PTA 実行委員のみなさん、ありがとうございました。

18日 演劇鑑賞教室（全学年）

19日 校内研究全体会

研究授業 2-1 原島学級 国語「きつねのおきゃくさま」

22日 縦割り班活動

6年生を中心に縦割り班ごとに遊びを考えました。各グループの6年生は下学年のことを考えながらリーダーとなってがんばりました。



たてわり遊びの様子

26～28日 日光移動教室（6年生）

小学校生活最後の宿泊学習です。日光の自然や歴史の様子をたくさん見てきました。泊江や学校ではできない経験をした3日間。自分たちでやり遂げた移動教室になりました。

27日 講演会・給食試食会

歯科医師の山田博先生を講師に迎え、「口の健康と望ましい食環境」という内容で1時間程度の講演、その後、給食試食を行いました。大勢の方の参加ありがとうございました。

28日 ファーブル昆虫記のお話3・4年生

中休みに3・4年生を中心に川崎先生がファーブル昆虫記の中から「ふんころがし」のお話をしてくれました。みんな興味津々に聞き入っていました。



セーフティー教室のご案内

子どもたちが、確かな善悪の判断や社会生活のルールを身に付けることをねらいにして、調布警察署の協力を得て、今年度も実施いたします。児童と一緒に保護者の皆様にもご覧いただきたいと思っております。また、低学年と高学年に分かれて実施しますが、保護者の方向けの講話も予定しています。多くの方の参加をお待ちしています。

日時 10月11日（木） 場所 本校体育館

時間 9:30～10:10 1・2・3年 えのき学級

10:15～10:30 保護者向けの講話 調布警察署の方

10:40～11:20 4・5・6年

※ 途中参加も可能です。直接体育館へおいでください。